



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

資料3

国際バカロレアを中心とした
グローバル人材育成を考える有識者会議
第2回資料
大学における国際バカロレアの活用

平成29年3月23日(木)
13時～15時

岡山大学副学長(入試改革担当)

田原 誠

岡山大学と国際バカロレアの受け入れ

■全国屈指の大規模国立総合大学

○11学部(国立大学で2位)+1コース
7大学院研究科

- ・ほぼすべての専門分野をカバー。
- ・広い分野の専門家の講義。

○学部学生： 10, 148人
大学院学生： 2, 951人
教員： 1, 283人
職員： 1, 380人

合計： 15, 762人 (概数)

○広い敷地： 200万m²(牧場, 教育研究林含む)
甲子園球場130個分 : 1.5万m² (概数)



文系

心豊かな人材
の育成

文学部

教育学部

法学部

経済学部

理工系

物づくりに挑戦する
人材の育成

理学部

工学部

環境理工学部

農学部

医療系

健康に奉仕する
人材の育成

医学部

歯学部

薬学部

マッチングプログラムコース
自分に合ったカリキュラムが組めます。 → グローバル・ディスカバリー・
プログラム (平成29年10月から)

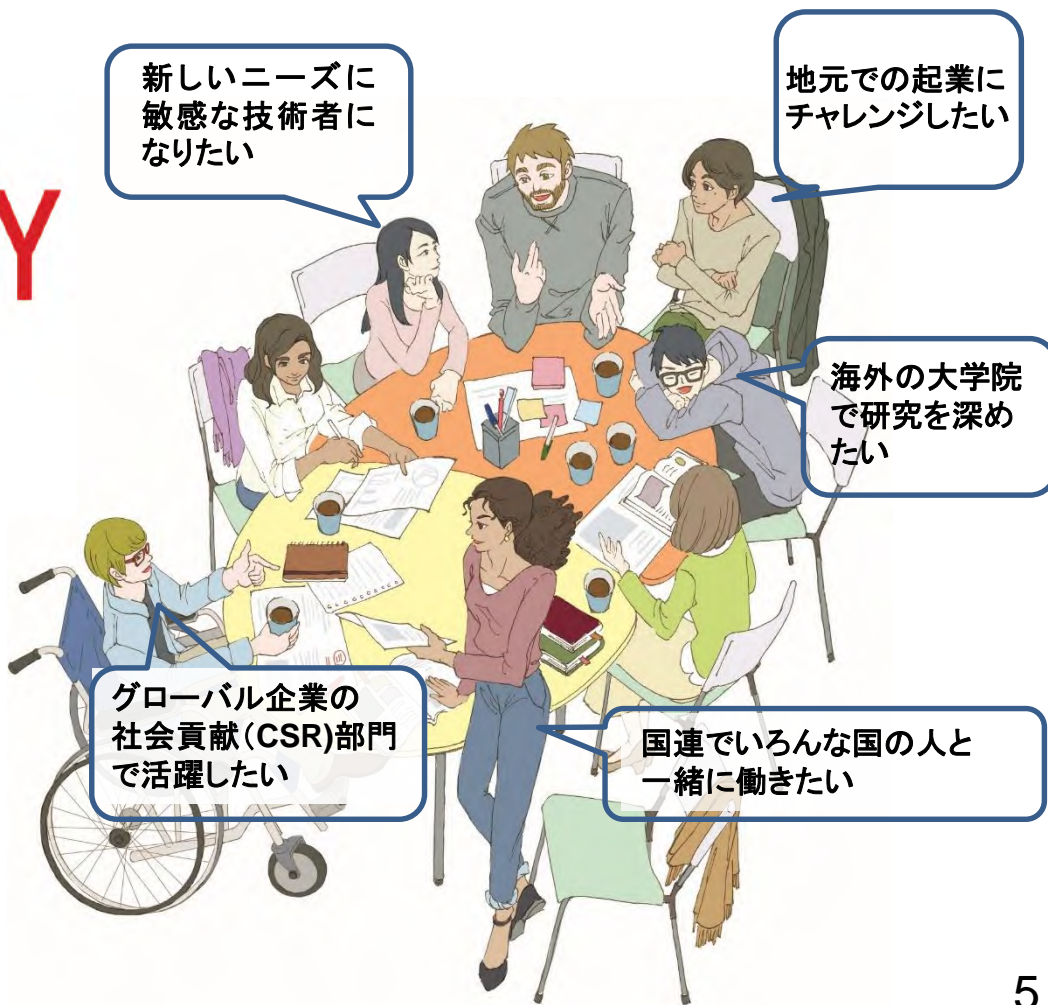
グローバルに活躍する夢をかなえるために必要な力——それは、**専門力**、**課題発見力・解決力**。
そして、異なる価値観・環境への**適応力**や異分野間の協働を可能にする**コミュニケーション力**です。

国際機関で社会貢献したい、グローバル企業で活躍したい、地域と世界をつなげたい…
そんなあなたのための学びが始まります。



このプログラムで身につく力

- 既存の枠組みにとらわれず、自ら課題を発見する力
- 自ら発見した課題の解決に必要な専門知識、調査手法
- 情報を収集する力、多角的・創造的に分析する力と社会に向けて的確な情報を効果的に発信する力
- 多文化環境に適応できる感性と語学力



マッチングプログラムコースを拡充・発展させた新しい教育プログラムが2017年10月からスタート！

*国内選考は2017年10月に実施。2018年4月入学からとなります。

マッチングプログラムコース

カリキュラム

■アドバイザーの助言をふまえた**学生自らの課題提案型履修プログラム**

■特定の学問領域だけでなく**複数の学問領域**にわたっての学習が可能

入試

- AO入試
- IB入試

進路

進学が半数近くを占め、就職も製造業・金融業・公務員等多岐にわたる

1学年16人

1学年60人

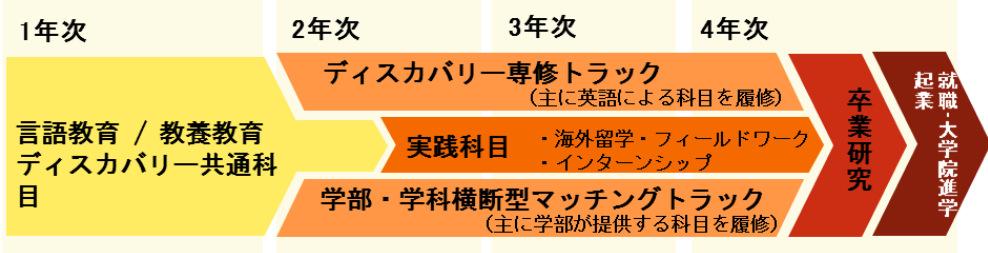
(国内選考30人
+海外選考30人)

ポイント

- 「自分の学び」を可能にする領域横断型カリキュラムは継続
- 世界各地からの留学生、帰国生などと一緒に学ぶプログラム
- グループディスカッション、プレゼンテーション、ピア・ラーニング（学生同士の学び合い）を中心とする授業
- 英語で学ぶ科目を人文系、経済系、サイエンス系で新規開講
- インターンシップ、フィールドワーク、海外留学など、**実践的な学び**を必修化

カリキュラム

- 履修アドバイザーと相談しながら、学ぶ意欲や関心、将来の目標とマッチした科目を選択し、**自分だけのカリキュラム**を作成。
- さまざまなバックグラウンドを持つ国内外出身者が、英語と日本語でともに学ぶ**混合ゼミ**。
- 2種類の専修トラック**で多様な学びを実現。
〈学部・学科横断型マッチング・トラック〉
〈ディスカバリー専修トラック〉



入試 **AO入試で科目履修者も対象** 進路

- AO入試（ディスカバリー入試）25人
- AO入試（ディスカバリー入試：実績評価型）5人
- IB入試 若干人
- 国際入試 30人（3期に分けて実施）

- 国際機関 ■NPO
- 起業 ■グローバル企業
- 調査コンサルティング会社 ■大学院 など

入試方法別 入学定員

一般入試

前期日程

全11学部 1,498人

68
%

後期日程

文・法(昼)・経済・理・
医(保)・歯・薬・工・環境
理工・農 10学部 275人

13
%

専門高校・総合学科卒業生入試
8人以内

1

帰国子女入試
私費外国人留学生特別入試
社会人入試 8人

%

入学定員
2,198人

11学部
+
1コース

AO入試

6%

センター試験を課すもの

教育・法・薬4学部 128人

物理チャレンジ 3人

マッチングプログラムコース 16人

国際バカロレア入試 若干人

推薦入試

13
%

推薦入試 I

文・法(夜)・経済(夜)・医(保)・工
農 5学部 190人

推薦入試 II

経済・医(医-地域枠コース)・歯・
環境理工 4学部 85人

- ▶ 平成21年 2月 東南アジアの I B 校を訪問調査（9月入学検討）
7月 学内で I B に関する講演会を開催
- ▶ 平成22年 2月, 11月 国内, 欧州等の I B 校を訪問
7月 学内で I B 校教育説明会を開催
- ▶ 平成23年 1月 東南アジアの I B 校を訪問調査
8月 第1回 I B 入試を実施（国立大学では最初）
（理, 工, 農, 医保, MP）
- ▶ 平成24年 第2回 I B 入試を実施
欧州の I B 校で説明会実施
- ▶ 平成25年 秋入学 I B 入試を実施
環境理工も春入学 I B 入試を導入
- ▶ 平成27年 全11学部と1コース（MP）で実施

- 書類審査のみ

文学部, 法学部, 経済学部, 理学部, 薬学部, 工学部,
環境理工学部, 農学部, MPコース

- 書類審査 + 面接

教育学部, 医学部(医学科, 保健学科), 歯学部

※書類: 「成績評価証明書」, 「自己推薦書」, 「評価書」

※付帯条件: 言語Aを日本語で4以上

募集単位毎の指定科目あり

医学部医学科のみ45点満点中39点以上

※定員: 医学部医学科 3名, 他は若干名

学部学科専攻等の指定科目 その1

学部・学科・専攻等		募集人員	指定する科目
文学部	人文学科	若干人	日本語A (HL4以上)
教育学部	学校教育教員養成課程	若干人	1科目HL 4 以上
	養護教諭養成課程	若干人	グループ6以外から1科目HL4以上
法学部	法学科 (昼間コース)	若干人	英語HL4以上 グループ3から1科目HLないしSL4以上
経済学部	経済学科 (昼間コース)	若干人	グループ3から1科目HL4以上または数学HL4以上
医学部	医学科	3人	物理, 化学, 生物から2科目および数学 (うち1科目はHL 4 以上, 他の2科目はSL5以上かHL3以上) であり <u>45点満点中39点以上</u>
歯学部	歯学科	若干人	物理, 化学, 生物, 数学から 1 科目 (HL 4 以上)
薬学部	薬学科	若干人	物理, 生物から1科目及び化学及び数学 (うち1科目HL 4 以上, 他はSL 5 以上又はHL 3 以上)
	創薬科学科	若干人	

学部学科専攻等の指定科目 その2

学部・学科・専攻等		募集人員	指定する科目
理学部	数学科		数学 (HL 4 以上)
	物理学科		数学, 物理から1科目 (HL4以上)
	化学科		数学, 物理, 化学から 1 科目 (HL4以上)
	生物学科		数学, 物理, 化学, 生物から1科目 (HL 4 以上)
	地球科学科		物理, 化学から1科目 (HL4以上)
医学部	保健学科	看護学	物理, 化学, 生物から1科目 (HLないしSLを履修, 成績評価は問わない)
		放射線技術科学	
		臨床技術科学	
工学部	機械システム系学科		数学 (HL4以上) 及び 物理 (HL4以上またはSL4以上)
	電気通信系学科		
	情報系学科		数学 (HL4以上)
	化学生命系学科		化学 (HL 4 以上) 及び数学 (HL4以上またはSL4以上)

学部学科専攻等の指定科目 その3

学部・学科・専攻等		募集人員	指定する科目
環境理工学部	環境数理学科	若干人	数学（HL成績評価 4 以上）
	環境デザイン工学科		物理，化学から1科目及び数学 1 科目（どちらか 1 科目はHL 4 以上。もう一方はSL 5 以上又はHL（成績評価は問わない））
	環境管理工学科		物理，化学，生物から 1 科目及び数学（どちらか 1 科目はHL 4 以上。もう一方はSL 4 以上又はHL（成績評価は問わない））
	環境物質工学科		数学（SL 4 以上又はHL（成績評価は問わない））及び物理か化学のどちらかHL 4 以上
農学部	総合農業科学科	若干人	物理，化学，生物から 1 科目及び数学（どちらか一方の科目はHL 4 以上。もう一方の科目はSL 5 以上又はHLで履修（成績評価は問わない。））
マッチングプログラムコース		若干人	グループ 6（芸術）以外から 1 科目（HL 4 以上）

4月入学

年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	合計
志願者数	1	1	2	9	13	17	43
合格発表者数	1	1	2	7	11	16	38
入学者数	1	0	0	2	5	(8)	8

()内は入学手続き者数

10月入学(マッチング・プログラム)

年度	25年	26年	27年	28年	29年	合計
志願者数	3	6	6	4	4	23
合格発表者数	3	5	6	4	—	18
入学者数	1	3	3	0	—	7

- ・言語Aで日本語を課しているので、ヨーロッパやアジアのインター校からの日本国籍の志願者が多い。そのほとんどは、大手企業の現地赴任者の家族。
- ・帰国先は首都圏であり、DP修了後は国外の大学に進学するか、首都圏の大学にも合格するとそこに進学することが多い。

・国際バカロレア修了生への期待

基礎学力に加え、語学力、コミュニケーション能力、主体性・積極性、多文化理解などの能力を備えており、本学におけるグローバル人材の中心的役割を果たす人材として期待される。

・受入体制整備の必要性

- 1) 海外の高校などで、日本の高校とは異なる教育環境にあったIB生を本学の教育課程にスムーズに受け入れるためには配慮が必要。
- 2) 受入者数は国立大学の中では多く、他大学に先進事例を示す。
- 3) 様々な学部への入学者があり、学部横断的な受入体制が必要。

- ・日本の高校教育課程：主として知識・技能の受動的な習得
- ・IB教育：論理的思考力，課題発見・解決能力，コミュニケーション能力，多文化理解力などの獲得

「躍動的な学び」がここにもある



OKAYAMA UNIV.

L-Cafe



岡山大学はスーパーグローバル大学採択校です

海外協定校196 / 29カ国, 海外拠点6ヶ所 種々の留学プログラム

多くの交流プログラム グローバル人材育成特別コース

文部科学省 大学教育再生加速プログラムテーマⅢ(入試改革)採択 (平成26年度～31年度)

APプログラムの概要

- ・ 国際バカロレア（IB） 修了生受入拡大のための広報活動
 - ・ IB教育の調査研究と高校・大学教育改革への活用
 - ・ IBとその教育への理解を深めるための講演会などの開催
- これらを通して、IB入試実施大学の拠点校としての役割を果たす。

国際バカロレア修了生の受入と活動支援

- ・ アドミッションセンターに教員（IBアドバイザー）を配置
(活動)
 - ・ 個人面談
 - ・ コミュニケーショングループ運営：SNS：IB岡大 LINEグループ
 - ・ 学生セミナー支援（医学英語セミナー，看護英語セミナー）
 - ・ 受け入れ学部（指導教員）との面談



国際バカロレアを国内の教育や 入試に生かす

1. 国際バカロレア (IB) の使命 (The IB mission)

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としている。

2. IBの学習者像 (The IB Learner Profile)

- 探求する人
- 知識のある人
- 考える人
- コミュニケーションができる人
- 信念をもつ人
- 心を開く人
- 思いやりのある人
- 挑戦する人
- バランスのとれた人
- 振り返りができる人



学習の方法 (approaches to learning skills) を体得させる

1. 思考スキル Thinking skills
2. コミュニケーションスキル Communication skills
3. 社会的スキル Social skills
4. 自己管理スキル Self-management skills
5. リサーチ・研究スキル Research skills

教育の方法 (IB approaches to teaching)

1. 探究を基盤とした指導 (based on inquiry)
2. 概念理解に重点を置いた指導 (focused on conceptual understanding)
3. 地域的な文脈とグローバルな文脈において展開される指導
(developed in local and global contexts)
4. 効果的なチームワークと協働を重視する指導
(focused on effective teamwork and collaboration)
5. すべての学習者のニーズを満たすために差別化した指導
(differentiated to meet the needs of all learners)
6. 評価 (形成的評価および総括的評価) を取り入れた指導
(informed by formative and summative assessment)

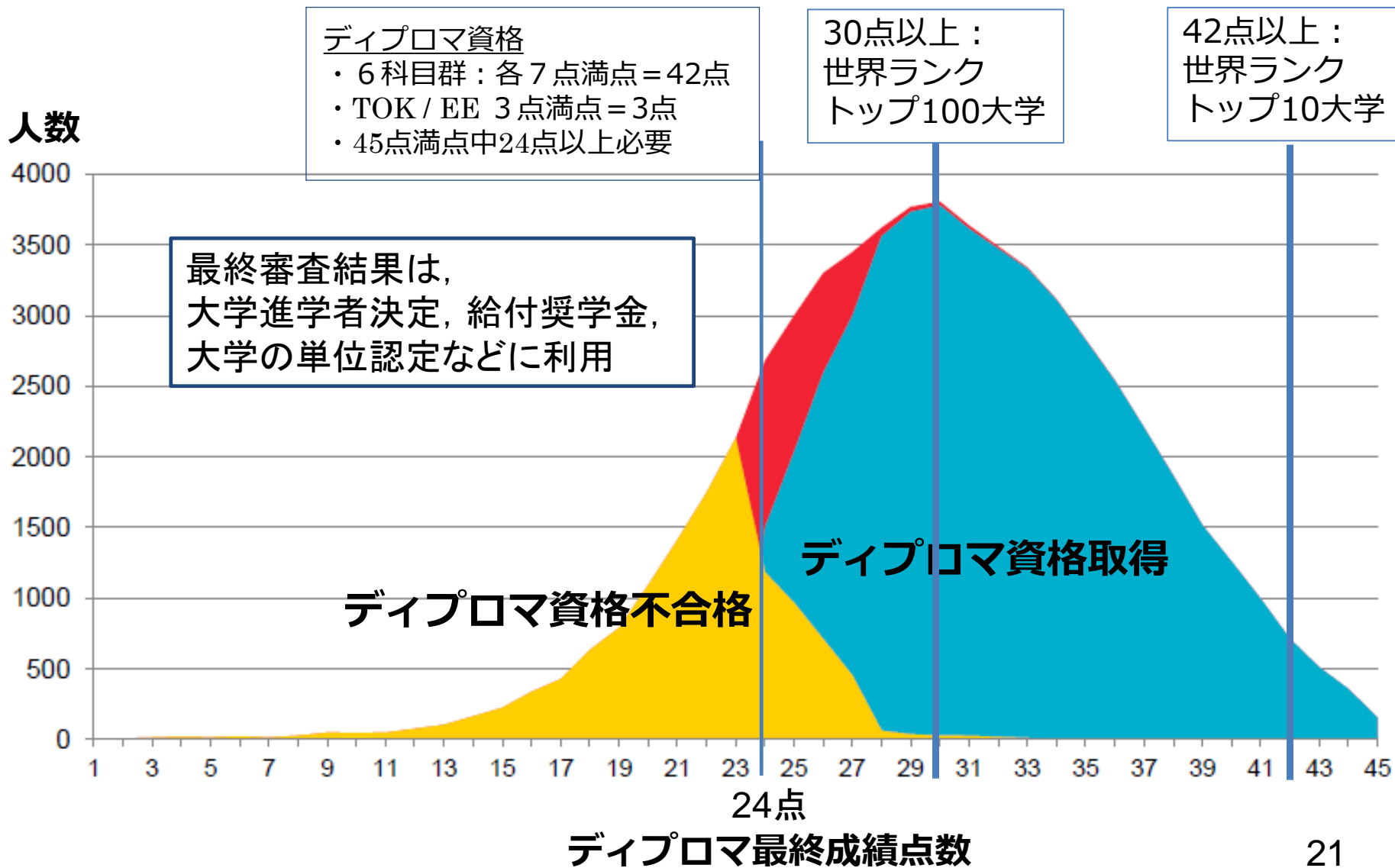
1. 国際バカロレアの学習評価(Assessment)を活用する

- 国際バカロレア校における学習評価(内部評価)を, 教育改革が進む高校の多様な学習活動の評価に活用する。
- 高校での学習活動評価(自主性・協働性評価)を大学入試に活用する。

2. 国際バカロレア教育を日本の教育に生かす

- コア科目の「知の理論」(教科横断の根幹となる思考法を提示する科目)を活用する。
- 国際バカロレア教育と日本の現存の教育に共通する素晴らしい基盤(倫理教育, 課外活動, 多角的な視点, 検証的思考, 能動的学びなど)を拡大・浸透させていく。

IBディプロマ試験結果 (2013年5月)



1. IB校履修中の学習評価 (内部評価)

- ・評価の一要素として、すべての科目で実施 (最終成績の20~50%の配点)。
- ・IB校の担当教員による評価。
- ・外部評価では生徒の達成度を測ることが困難な技能、活動など。

- ・課題研究活動
- ・言語科目の口頭試験
- ・地理のフィールドワーク
- ・理科の実験
- ・知の理論プレゼンテーション
- ・数学の探求学習など

IBCA: IB Curriculum & Assessment Centre
によるモデレーション(確認調整)を受ける。

2. DP課程を通して取り組む課題など

- ・第一言語, 第二言語の課題, 音楽の探究学習, 知の理論のエッセイ, 課題論文
- ・生徒が, 直接 IBCAに提出して評価を受ける。

3. DP課程の最終段階の世界統一試験 (5月または11月に実施)

- ・6科目について, 学習者像到達を, 「学習の方法」と教科の達成度から, 客観的に評価する試験。小論文, 構造化した設問 (structured problems) などの形式。

世界の 3,292 校で153,710人がディプロマ・コースの審査を受けた(2015年)

IB校

- 教科担当者が評価
- 生徒の学習成果を的確に表す学内評価物とその評価を選択
- コーディネーターが集約してIBCAに報告



IBCA

- 学内評価のモデレーション(確認調整)用サンプルをIB校に提出するよう指示
- IBCAによるモデレーション(確認調整)
学内評価サンプルが世界の評価基準に適合しているかのチェック
- IB校への通知(場合によっては, 成績調整)

高大接続改革

高校教育改革:「学力の3要素」を育む。

大学入試改革:「学力の3要素」を多面的に評価する。

国立大学の入試改革ビジョン(国大協, H33年度目標):
推薦・AO入試は定員の30%を目標 = 70%は一般入試

一般入試における「学力の3要素」の評価

① 知識・技能

② 思考力・判断力・表現力

③ 主体的に多様な人々と
協働して学ぶ態度

・大学入学希望者学力評価テスト
・個別選抜

・高校時代の調査書, 活動報告書等

国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの内部評価 (IB校での評価)

現在, 関係機関とその可能性を検討中

1. 国際バカロレアの学習評価 (Assessment) を活用する

- 国際バカロレア校における学習評価 (内部評価) を、教育改革が進む高校の多様な学習活動の評価に活用する。
- 高校での学習活動評価 (自主性・協働性評価) を大学入試に活用する。

2. 国際バカロレア教育を日本の教育に生かす

- コア科目の「知の理論」(教科横断の根幹となる思考法を提示する科目) を活用する。
- 国際バカロレア教育と日本の現存の教育に共通する素晴らしい基盤 (倫理教育, 課外活動, 多角的な視点, 検証的思考, 能動的学びなど) を拡大・浸透させていく。

<国際バカロレア・ディプロマプログラムのコア科目 >

<特徴>

- 多様な視点から「知識」を検討し，検証的に考える力を養う科目
- TOKの学修方法
具体的な事案（実社会の状況）から，事案に含まれる主張を抽出する。その主張が対象としている「知識」はどのようなもので，それをどのように知ったのかを多角的に分析し，その妥当性を検証する。分析から主張の背景にある根源的な概念を導きだし，他の事案の考察にも適用する。
- 全ての教科に共通する「学び方の方法」，「概念理解の方法」を体得する。

Key question: How do we know what we know?

- ・「私(私たち)は知っている」と言うとき，それは一体どういうことなのか？
- ・その知識はどのようにして知ったのだろうか？

学習のねらい

クリティカル

1. 知識の構築に対する批判的なアプローチと、教科学習、広い世界との間のつながりを見つける。
2. 個人やコミュニティがどのようにして知識を構築するのか、その知識がどのように批判的に吟味されるのかについて、認識を発達させる。
3. 文化的なものの見方の多様性や豊かさに対して関心を抱き、個人的な前提や、イデオロギーの底流にある前提について自覚的になる。
4. 自分の信念や前提を批判的に振り返り、より思慮深く、責任意識と目的意識に満ちた人生を送れるようにする。
5. 知識には責任が伴い、知ることによって社会への参加と行動の義務が生じることを理解する。

- ◆「知の理論」指導教員育成のためのワークショップで研修
(国際バカロレア機構主催)
- ◆モデル授業の実施
「知識の理論」ミニ・セミナー(2015年2月, 附属図書館ラーニングコモンズ)
- ◆入門書の翻訳
国際バカロレア 知の理論 スキルと実践 オックスフォード大学出版
- ◆実用的な“ワークブック”作成中(筑波大学教員等と共同執筆中)
「知の理論をひもとく Unpacking TOK」

今後の予定

- ◆教養教育科目に導入 (クリティカルシンキング入門,
「知の理論」入門)
- ◆小論文試験として利用可能性を検討

<「知の理論」が重視している能力>

- ・論理的思考力, 表現力
- ・探究心や学術的思考・物事を多様な観点から理解する力など

「知識の理論」ミニ・セミナー

TOK: Theory of Knowledge

～これからの社会を生き抜くための思考法の養成～

日時：2015年2月9日（月）、10日（火）
12日（木）、13日（金）

いずれも 14:30～16:00

場所：中央図書館 1F ラーニング・コモンズ

講師：森岡明美（言語教育センター准教授）

田原 誠（附属図書館副館長）

4回シリーズ
です

参加者募集！

学生・留学生対象
定員30名

- **TOK** とは、知識とは何か、知識をどう獲得し、どう使いこなすか、を学ぶもの。いま、世界が注目する国際バカロレア教育の中核をなすプログラムです。

TOK 流の思考をマスターすると

柔軟で客観的なものの見方、論理的な考察力、解が見出せない問いに対する最善解の考案、多様性の容認、他者の尊重、知的懐疑心を身につけることができます。

- 予測が難しくグローバル化が進む今の社会を生き抜くために、とても役に立ちます。
- このミニ・セミナーでは、講義とワークショップを通して、**TOK 流に考える方法**を自分のものにしていただきます。ぜひ、ご参加ください！

■参加申込み：下記アドレス宛 **1/29 ミニ・セミナー申し込み** と記入し、お名前、学部、身分を **メール** でお知らせください。



主催：岡山大学附属図書館

問い合わせ先：附属図書館情報管理課総務グループ

E-mail: lib-event@adm.okayama-u.ac.jp tel:086-251-7304



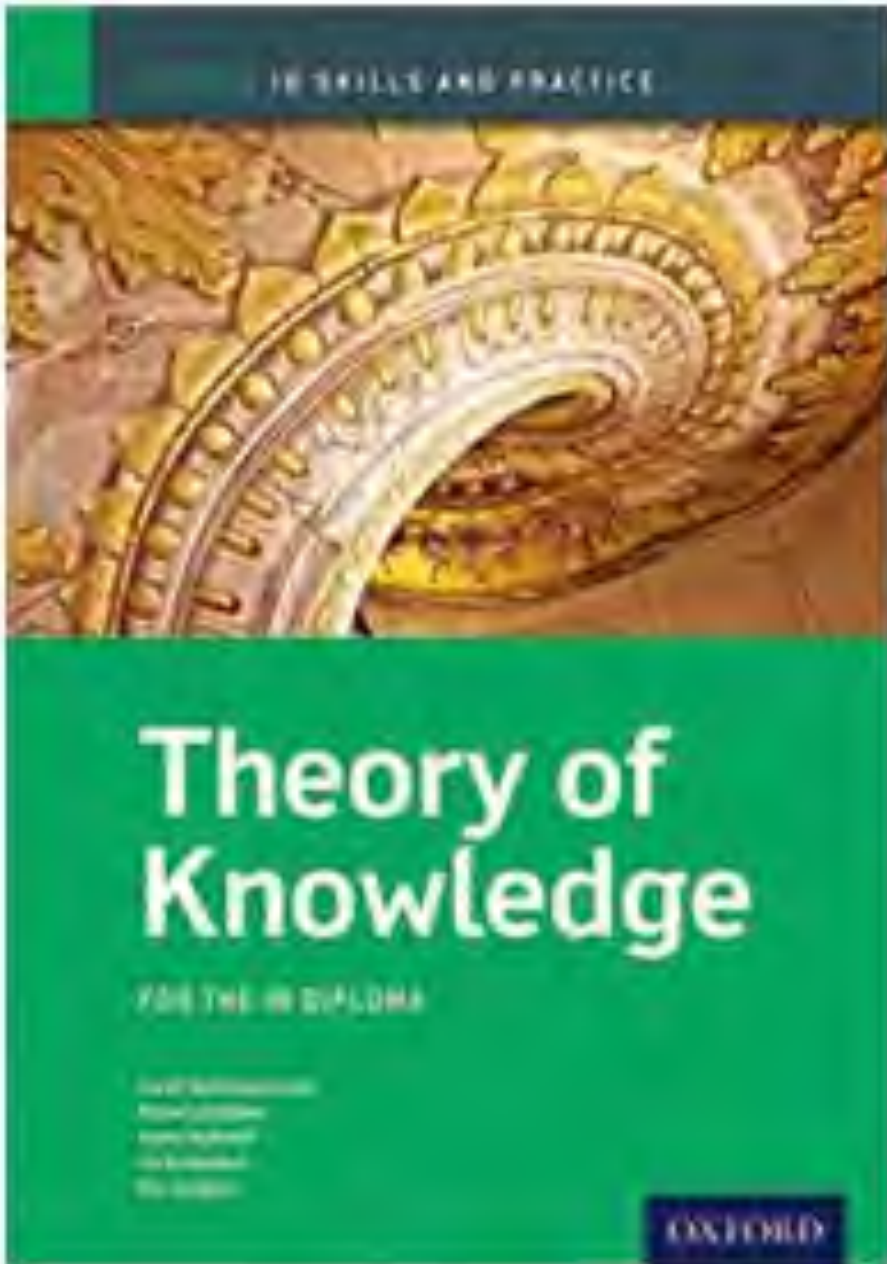
附属図書館のラーニングコモンズを活用した先行的な授業

開催日：2015年2月9日～14日

目的

- ◆ 講義とワークショップを通して、TOK流に考える方法を体得するために開催
- ◆ TOKとは、知識とは何か、知識をどう獲得し、どう使いこなすか、を学ぶもの
- ◆ TOK流の思考をマスターすると柔軟で客観的なものの見方、論理的な考察力、解が見出せない問いに対する最善解の考案、多様性の容認、他者の尊重、知的懐疑心を身につけることができる
- ◆ 予測が難しくグローバル化が進む今の社会を生き抜くために役立つ

参加：学部生・大学院生24名



国際バカロレアが示唆する新しい高校教育・大学入試

- ▶ 日時：2016年10月11日（火）13:00～17:00（12:30開場）
- ▶ 会場：岡山大学創立五十周年記念館 参加費：無料
- ▶ 申込み：シンポジウムサイト <http://goo.gl/IKUZuT> または下記 QR コードから登録下さい。

PROGRAM

- I 開会の挨拶 岡山大学理事・副学長（教育担当） 許 南浩
- II 講演
 - ◇ 日本語 A（文学）の口頭試問と IB 最終試験
International School of Düsseldorf e.V. 吉田 孝氏
 - ◇ CAS と TOK から見た日本の高校教育への提案
立命館宇治中学校・高等学校 久保 敦氏
- III 事例報告
 - ◇ TOK と教科横断的な学び～実践事例の共有～
立命館宇治中学校・高等学校 小澤 大心氏
 - ◇ Dual Language 校の実践報告
沖縄尚学高等学校 宮城 直人氏
 - ◇ TOK ワークブック「知の理論をひもとく」の作成
岡山大学高等教育開発推進室 森岡明美
 - ◇ IB 数学 Higher Level の選択分野と大学での単位認定の可能性
岡山大学アドミッションセンター 田中 克己
- IV パネルディスカッション
モデレーター 田中 克己
パネリスト 吉田 孝氏、久保 敦氏、小澤 大心氏、宮城 直人氏、森岡明美

◆意見交換会 17:30～19:00（要事前申込み・会費制）

大学教育再生加速プログラムシンポジウム

国際バカロレアが示唆する新しい 高校教育・大学入試

・日時：2016年10月11日（火）

・会場：岡山大学創立五十周年記念館



➤ 出版のねらい

- ・対象：IB教育を受けたことのない大学生（教養教育科目の参考書を念頭）
探究学習などの参考書として、広く高校の授業でも
- ・目的：TOKに「ついて」はわかっても、何をしたら良いかわからない。
自分たちの理解を深めるために実践例を作りシェアする。

- ## ➤ 執筆者：
- キャロル・犬飼・ディクソン（筑波大学客員教授）
森岡 明美（岡山大学 高等教育開発推進室 准教授）
井上 志音（灘高等学校 国語科教諭，IB日本語A試験官）
田原 誠（岡山大学教授，アドミッションセンター長）
山口 えりか（上智大学短期大学部職員） International School of
Paris（フランス）DP修了。

- ## ➤ 内容：
- 第1章：TOK思考法
第2章：実践例
第3章：演習のための素材文
第4章：第2章の台本サンプル・別解・解答例

- ## ➤ 発売：
- 平成29年4月中旬



OKAYAMA UNIV.

大学教育再生加速プログラムシンポジウム

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム 修了生による座談会-生徒の目から見たIBDP- Roundtable Discussion by IBDP Graduates - Listen to their voices -

2016年 3月4日(金) 中央図書館3階 セミナールームA・B・C

パネリスト : Anamaria Isticioaia (IB-Japan),
山口 えりか (IB-France)

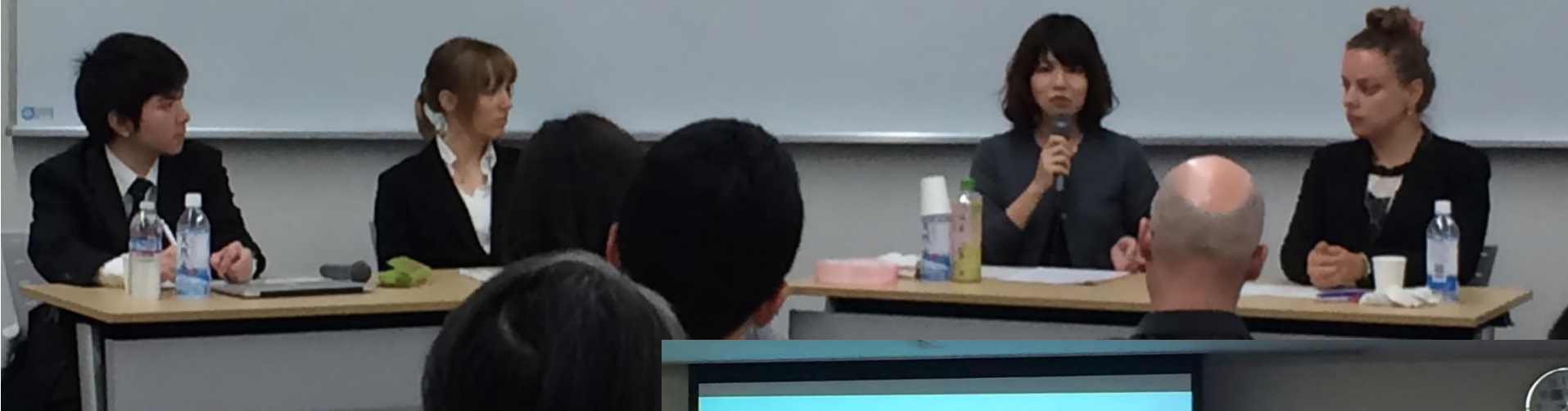
Solrun Alexia Thorhallsson (IB-USA),
松本 亮 (IB-Netherlands)

国際バカロレアプログラムって なあに？どんな教育なの？
生徒たちは、どんな授業や体験をしてきたの？

そんな疑問をもっているかたは、是非この座談会に来てみてください。
ディプロマプログラムを修了した4名をパネリストに迎え、実体験を語ってもらい
ます。

この4名はそれぞれ日本、フランス、アメリカ、オランダの国際バカロレア高校で
学びました。生徒の目から見た国際バカロレア教育について、生の声を聞いてみ
ませんか。

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム 修了生による座談会



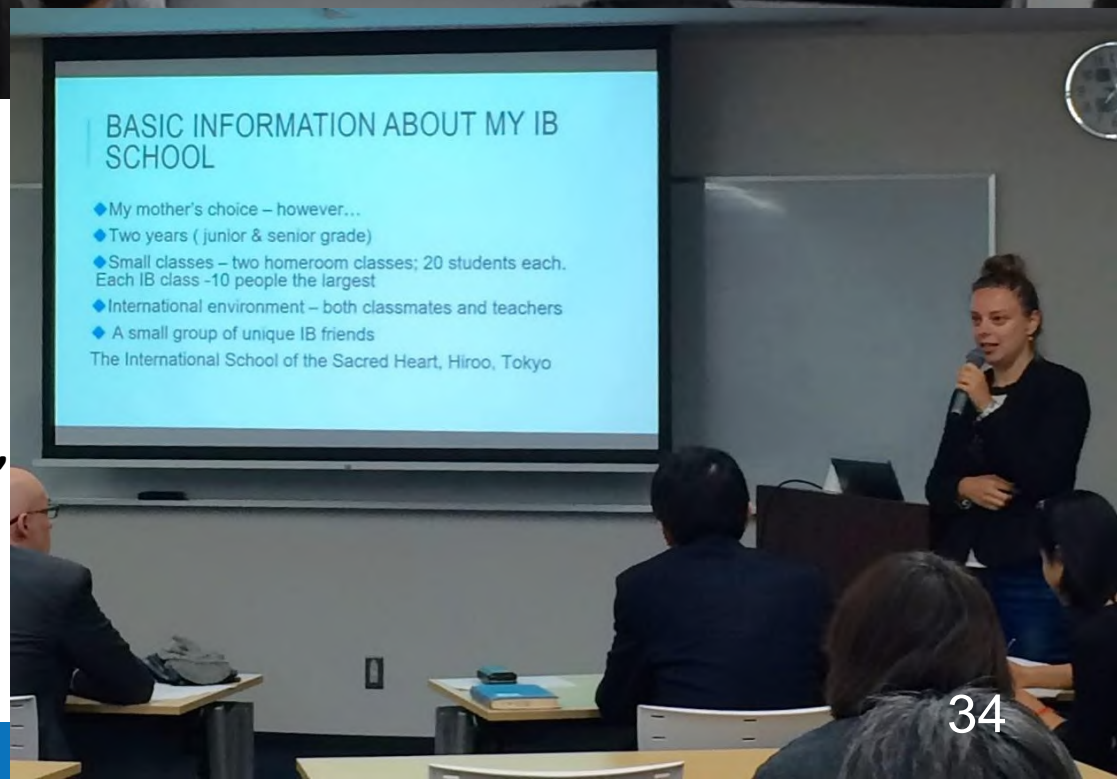
パネリスト：

Anamaria Titicaca (IB-Japan),

山口えりか (IB-France),

Solrun Alexia Thorhallsson (IB-USA),

松本亮 (IB-Netherlands)



「国際バカロレアと既存の教育との整合性—IB教育は脅威ではない」

岡山大学アドミッションセンター, 筑波大学教育学(国際教育)修士プログラム,
岡山理科大学グローバル教育センターの共催

開催日時: 2016年7月11日(月) 場所: 岡山大学附属図書館セミナー室
プログラム(講演)

国際バカロレア高校の現状と筑波大学修士課程におけるIB教員養成
筑波大学 キャロル・犬飼・ディクソン 客員教授

国際バカロレア教育と既存の教育との理論的整合性
筑波大学 佐藤博志 人間系教育学域 准教授

岡山理科大学のIB教員養成課程—学部での取り組みと高校への還元—
岡山理科大学 眞砂和典 IB教員養成プロジェクト準備室長

IB数学: 高校での実践例

関西学院千里国際高等部 馬場博史 数学科教諭

IB教育要素を含んだ大学授業実践例1: 地域実践型授業

岡山大学 前田芳男 地域総合研究センター 准教授

IB教育要素を含んだ大学授業実践例2: 英語模擬国連授業

岡山大学 トーマス・ファスト 基幹教育センター 外国語教育部門 講師



背景

- 日本の教育改革にとって、国際バカロレア教育は、重要な指針を与える。
- IB教員養成プログラムが、学部レベルや大学院レベルで始まり、IB認定校も増えつつあるが、未だIB教育の実態は十分に知られていない。
- IB教育関係機関・関係者が知識・知恵・情報を共有してIB教育を広めていく必要がある。

趣旨

1. 国際バカロレア教育に関わる岡山大学・筑波大学・岡山理科大学の交流をはじめ、参加校との交流を図る。
2. 国際バカロレア教育に関する高校と大学との接続を図る。
3. 国際バカロレア教育は、日本の従来の教育に比べて異質のものではなく、既にある日本の高校・大学の教育活動と基盤は共通していることを理論と実践の両面から検証する。
4. 国際バカロレア教育と日本の現存の教育に共通する素晴らしい基盤（倫理教育、課外活動、多角的な視点、検証的思考、能動的学びなど）を拡大・浸透させていく方法を探る。



国際バカロレアフォーラム
2016年7月11日 岡山大学中央図書館

IB教育要素を含んだ大学授業実践 事例 1

地域実践型授業 Creativity Action Service

前田 芳男
岡山大学地域総合研究センター 副センター長
教育開発センター 実践教育部門長

37

1. 実践型社会連携教育プログラムとは



1	実践知の涵養 (判断力, 気概, リーダーシップ, チーム力)
2	現場を通じた課題解決型
3	専門と教養の相互連携
4	非常勤講師など学外との連携
5	学生の成績の評価(実践知を評価する)
	実践型授業自体の評価(成果報告・活用)
6	グッド・ハビットの獲得
7	互恵性(地域社会への貢献)

39

発表内容



1. 実践型社会連携教育プログラムとは
2. CASをどう組み込むか



38

文理融合によるグローバル実践人の育成 全学展開



PBL, SL, CBL

40

Okayama University



Model UN Project

Thomas Fast
Okayama University
IB Forum
July 11, 2016



41

Okayama U. MUN Project

2015
MUN Pilot Class
NMUN Czech Republic
Tsukuba MUN (observer)

2016
NMUN New York
MUN Advanced Elective
JUEMUN Kyoto
NMUN Kobe

2017
NMUN New York



43



What is the Model UN?

Role Play UN delegates and try to solve the world's problems!

42

Model UN is

Challenging
Active
Inquiry-based
Cross-disciplinary
Beyond the classroom
very Global

IB Links:

TOK
CAS
Learner Profile



44

- ▶ 平成21年 2月 東南アジアの I B 校を訪問調査（9月入学検討）
7月 学内で I B に関する講演会を開催
- ▶ 平成22年 2月, 11月 国内, 欧州等の I B 校を訪問
7月 学内で I B 校教育説明会を開催
- ▶ 平成23年 1月 東南アジアの I B 校を訪問調査
8月 第1回 I B 入試を実施（国立大学では最初）
（理, 工, 農, 医保, MP）
- ▶ 平成24年 第2回 I B 入試を実施
欧州の I B 校で説明会実施
- ▶ 平成25年 秋入学 I B 入試を実施
環境理工も春入学 I B 入試を導入
- ▶ 平成27年 全11学部と1コース（MP）で実施

IB DP生の秋季（9月）入学検討（平成20年度）

- 前提：早期（3年半）卒業（理系学科の実験演習を2セット組むのは不可能）
- 英語の単位認定，IB HL履修科目の一般教養科目としての単位認定

背景

大学（4年制）卒業に必要な単位：124単位以上
半年間での単位： $124 \div (4 \text{年間} \times 2) \div 16 \text{単位}$
一般教養：31単位以上，うち英語6単位

岡山大学での英語単位認定（平成29年度の基準）
TOEIC 850点以上，TOEFL ITP 590点以上：5単位まで認定
米国・カナダの大学：IB HL履修科目の単位認定，2年次入学も

- 英語5単位+IB HL履修科目を一般教養科目10単位=15単位=約半年分



大学が単位を与えることができる学修（文部省告示により規定*）

- TOEIC, TOEFLなど
- 普通高校（IB校を含む）の学修は対象外



IB DP生の秋季（9月）入学・早期（3年半）修了制度は実現せず

46

* 平成三年文部省告示第六十八号(大学設置基準第二十九条第一項の規定による大学が単位を与えることのできる学修)

欧米の大学の就学年数は4年よりも短い

ヨーロッパ（ボローニャ・プロセス）、オーストラリア

- ・ 3年の就学年数で学士取得が可能

カナダ・米国

- ・ 就学年数は4年だが、IB HL科目、AP(Advanced Placement)の大学単位認定により、早期卒業が可能。IB DP生には、2年次入学制度もある。

IB DPの履修時間はHLでは240時間、日本の高校の科目では70～140時間

IB DP生の確保のためには、大学の就学年数を短くすることも重要な条件。

「大学が単位を与えることができる学修」の見直し

- ・ IB DPを多数受け入れている大学での検証
- ・ デュアルランゲージプログラムでの検証

カナダの大学のIB科目認定方針のまとめ (抜粋) *

International Baccalaureate	Admission						Diploma Course Credit and Placement				
	Total minimum IB diploma score needed for admission	IB diploma accepted as a credential for admission *	Early admission offered to IB diploma holders / candidates *	2nd year status upon admission for IB diploma holders *	TOK & EE additional points included in admissions decisions	Anticipated and/or predicted grades accepted or may be considered	Credit and/or placement awarded on course-by-course basis	Minimum score for HL course-by-course credit	Specific credit or placement awarded for TOK	Credit and/or placement may be awarded for one or more SL courses *	Student has the option to forego credit
University of Northern British Columbia	24	✓		✓		✓	✓	4	✓		✓
University of Ontario Institute of Technology	24	✓	✓		✓	✓	✓	5			✓
University of Ottawa	26	✓	✓		✓	✓	✓	5			✓
University of Prince Edward Island	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	4	✓		✓
University of Regina	24	✓	✓			✓	✓	5			✓
University of Saskatchewan	24	✓	✓			✓	✓	5			✓
University of Saskatchewan - College of Medicine	Not considered						✓	5			
University of the Fraser Valley	Not considered	✓		✓		✓	✓	5			✓
University of St. Michael's College	28	✓	✓		✓	✓	✓	5			✓
University of Toronto	28	✓	✓		✓	✓	✓	5			✓

トロント大学 (世界ランキング第32位)

2年次入学

IB HL履修科目の単位認定

米国の大学も同様の状況

* 出典: <http://www.wossweb.com/assets/canadian-universities-and-ib.pdf>